

令和6年度入学式 式辞

校歌の冒頭「陽光映ゆる笠形の 山並み豊か野間の里」この歌詞の情景にふさわしい好季節となってまいりました今日のよき日、八千代中学校にも、新たな出発の春が訪れました。

本日は、多可町長 吉田 一四 様はじめ、ご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに令和六年度入学式を挙行できますこと、心より感謝申し上げます。

さて、あらためまして、新入生38名の皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。皆さんの入学を在校生、職員一同心待ちにしていました。先ほど2名の担任の先生から、一人ひとり名前を呼ばれ、しっかりと返事をする姿を見て「今日から中学生、新しい気持ちでがんばるぞ」という意気込みを感じとることができました。また、皆さんはこの3月までの6年間、小学校でたくさんのことを学んできました。小学校での成長も十分に伝わってきました。今のその気持ちを大切に、これからの中学校生活で、自分の能力や個性をさらに伸ばしてほしいと思います。

本校の校訓は「全校一心 明るく 強く 美しく」です。校訓には、心も体も健康で、地域の明日を担う人に成長して欲しいという熱い思いが込められており、これまでの卒業生、地域の方々によって、脈々と受け継がれてきました。

縁あって、私たちはこの八千代中学校で共に生活することになりました。一人一人が大切にされ、一人一人のよさが輝く、そんな八千代中学校にする。そのことこそが「全校一心 明るく 強く 美しく」の姿であると思っています。

ここで、中学校入学という人生の節目を迎えた新入生の皆さんに、ある言葉を紹介したいと思います。

「努力して結果が出ると、自信になる」

「努力せず結果が出ると、傲りになる」

「努力せず結果も出ないと、後悔が残る」

「努力して結果が出ないとしても、経験が 残る」です。

これからの中学校生活では、勉強に部活動、様々な学校行事など、皆さんの努力が試される場面がたくさん待っています。先ほど紹介した言葉では、「努力した場合は、結果が出ても出なくても自分のためになり、努力しない場合は、結果がどうあれ良い物は残らない」ということでした。この中で、特に「努力したけど結果が出なかった場合、経験が残る」という部分が大切だと思っています。いつもいつもうまくいくわけではありません。失敗すること多々あることと思います。しかし、自分なりに努力していることで失敗しても経験が積み重なっていくことになります。経験値が上がるということですね。これは、人間としての成長につながります。成長を実感できたときには自信が生まれます。仲間と一

緒になって、共に努力し成長することは、八千代中学校をより良い学校にすることにつながります。どうか、今の前向きな気持ちを大切に、日々の努力を自分なりに継続してください。そして、中学校生活を充実させることでより大きく成長してくれることを期待しています。2・3年生の先輩や先生方も応援しています。一緒に頑張っていきましょう。

保護者の皆様方に、ひと言、お祝い申し上げます。お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日より大切なお子様をお預かりするにあたり、身の引き締まる思いです。中学校の3年間は、小学校の6年間に負けないぐらい心身共に大きく成長する時期でもあります。皆様方のご期待に添えるよう、職員一同、心を一つにし、ご家庭との連携を図りながら努力して参ります。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さあ、新入生の皆さん。今日という日を新たなスタートとして、だれもが「中学校生活が楽しい」と感じ、誇りに思える八千代中学校を先輩たちと共に創っていきましょう。そして、八千代中学生として明るく、強く、美しく、日々前進してくれることを期待し、式辞といたします。

令和6年4月9日

多可町立八千代中学校長 吉田 勇二